

# みんなの環境

第26号 2010年5月20日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

## 「みんなの環境展」2010

6月26日(土)、27日(日)の両日、厚木市文化会館で

### 環境月間に合わせて開催

今年の「みんなの環境展」は、これまでの1月開催から環境月間の6月開催としました。内容も「食と環境」をメインテーマに計画をすすめてきました。

「みんなの環境展」2010は6月26日(土)、27日(日)の両日、厚木市文化会館で開催されます。内容は①オーガニックな学校給食を進めるフランスのドキュメンタリー映画「未来の食卓」の上映。②基調講演は、65万部を突破するベストセラー『食品の裏側』(東洋経済新報社)、『なにを食べたらいいの?』(新潮社)や昨年12月の新刊『安心な食品の見分け方』(祥伝社)の著書で有名な、食品添加物評論家・安部司氏。「食品の裏側」をテーマに実験を交えてご講演いただきます。③厚木市に地元農産物の直売所「夢未市」を開設、産直を実践しているJA



安部 司氏

あつぎ井萱修己組合長。有害化学汚染物質を削減する政策を提言するなどの環境問題に尽力している中下裕子弁護士を招いて、「安全な食を子どもたちへ」についてのパネルディスカッション。④食と環境をテーマにパネル展示、当会が永年継続測定している厚木市内各所のNO<sub>2</sub>の調査報告。厚木市や近隣で活動する環境関連団体も出展します。



厚木市との協働事業で協定式

### 今年は厚木市との協働事業

この企画は、厚木市の初めての試みである「市民協働事業提案制度」に応募しました。昨年春のプレゼンテーションからはじまり、2度の審査を受け、そして多くの市民からの提案の中から採択されることになりました。

いろいろと試行錯誤を重ねて5月13日、市と協働事業に関する協定書を交わしました。今までとは若干異なるプログラムとなり、規模も大きくなりました。市は任意団体と初の協働事業で、その行方に大きな関心を持っています。昨年の県との共催とちがい、とまどうことが多いですが万端の準備を整えて開催します。みなさんの協力をお願いします。(長岡 恂)

## 循環型社会を考える

### ゼロエミッションって何だろう？

\* 鷲谷雅敏

ゼロエミッションという言葉を知ったことがあるでしょうか。もともと 1994 年に国連大学（本部：東京都渋谷区）で、そのコンセプトが確立し一般化していったものです。

文字通り訳せば、廃棄物（エミッション）ゼロということですが、今のゼロエミッションの考え方は、廃棄物を出さない企業活動、経済社会などを表す、より広い意味を持つキーワードとしてゼロエミッションという言葉が使われるようになってきました。

大量生産、大量消費、大量廃棄を基本とした、これまでの一方通行型経済システムを続けることは限界があります。このままの生活を続ければ、ちょうど燃料の補給なしに高速道路をフルスピードで走るようなものでガソリンが無くなればそれで終わり。その限界と折り合えるためには、社会を一方通行型の資源・経済システムから循環型社会に変える必要が求められています。

それでは、ゼロエミッションを目指して、どのように考えれば良いのでしょうか。目標とするところは、限りある資源やエネルギーを大切に使うこと。有限な物質を最大限無駄にせず、有効に活用しようということです。自然界では、その存在自体が必ず誰かの役に立っており廃棄物はありません。人間だけが、一方向で循環できない「ごみ」をいつまでも出し続けていては、遅かれ早かれ限界が来てしまうのは明らかです。

「ゼロエミッション」をキーワードに、これからの循環型社会を考えてゆきましょう。

~~~~~

#### ・厚木市ごみ対策協議会視察報告

ごみ減量化・資源化新システムの実施状況を確認するために、2月19日、厚木市金田にあるベストトレーディング(株)という民間の企業に行き、プラスチック製容器包装などの資源化行程（中間処理）を見学しました。

昨年10月から全市に展開されたごみ減量化・資源化新システムですが、一カ月当たりで見ると、このプラ製容器包装の量は200トン以上にもなります。異物があると資源にならないので最後は人の手で取り除いていたことが印象的でした。

次回からは、個々の課題について考えてみたいと思います。

\* さぎたに まさとし = あつぎ環境市民の会・廃棄物部会長、厚木市ごみ対策協議会



ごみ最終処分場（かながわ環境整備センター）

みなさんの生活の中でのエコを、会報「みんなの環境」に投稿してみたいか。 随時原稿受付中です

## 私のエコ活動

# 生ゴミは土中へ、調理は太陽光

＊不破穢一

日常生活の中で、こまごまとした通常エネルギーの使用をセーブする等の気遣い以外に、以下の二点のエコ活動については特別な関心をもって行っています。

### ・生ゴミの土中への埋め込み

食生活の結果として出てくる生ゴミ(野菜クズ、果物皮等)は2~3日間通い容器(下左図)に溜めて



おき、庭の木の根元等に直径25~30 cm、深さ25 cm位の穴を掘って埋め込んでいる。この穴掘りは一寸した労働であるが、1回の穴掘りで3~4回の投棄が可能でありそれほど苦にならない。投棄したゴミにはその都度穴を掘ったときの土をゴミが隠れるくらいにかぶせておけば、悪臭を発することも無く数ヶ月で跡形もなくなっている。ちなみに2人家族の我が家では、1ヶ月で埋め込む生ゴミは2ヶ月の実測で平均5.75kgであった。これだけの可燃物ゴミを減量していることになる。

### ・ソーラークッキング

庭には我等が「ひまわりソーラークッカー研究会」で試作された太陽自動追尾式ソーラークッカーが一台設置されており、試用と省エネ目的で晴天の日にはこれを用いてクッキングを行っている。

クッキング内容は湯沸しが約半分であり、残り半分がその他料理というところ。沸かしたお湯は直接カップ麺のカップや、茶葉をいれた急須に注ぐこともあるが、魔法ビンに入れておいて夕食の準備、夕方から夜のお茶、さらには翌朝食の準備に用いることが多い。どの位調理用ガスのセーブになっているかはまだデータ化していないが、1ヶ月に10日の晴天日があり1日に20の湯沸しと500gの馬鈴薯(中サイズ3コ)を蒸かすとすると、これを都市ガスを用いて行う場合に比べて248gの炭酸ガス排出削減となる。1ヶ月に10日間、同様のクッキングを行った場合は248×10=2.5kgの削減となる。チリも積もれば山となるというところでしょうか。



＊ふわ じょういち=あつぎ環境市民の会、ひまわりソーラークッカー研究会

## 自然再発見 荻野川の野鳥観察会

案内 \*櫻井 武

- 実施日時 : 平成22年5月1日(土) 8時30分から15時まで
- 観察場所 : 荻野運動公園散策路および荻野川(金山橋から広町公園の間)
- 参加者 : 20名
- 西山を守る会荻田様から参加者の皆様へと託された地元産ヒオウギの種を配布しました。
- 長岡様から山野草について解説もいただきました。クマガイソウ、キンラン、ジュウニヒトエ、ヤブレガサ、フジ、イタドリ、スイバ、ミクリ、ユリノキなど。

### 散策路 ソングポストの案内(8:30~10:00)

- 無道沢から第3展望台 / 1)サシバ 2)キビタキ 3)コゲラ
- 尾根路一帯 / 4)オオタカ 5)サンコウチョウ 6)キビタキ 7)ウソ
- 洞窟前-散策路入口 / 7)オオルリ 8)フクロウ 9)アオバヅク(散策路出口)

### 荻野川 金山橋から広町公園の間(10:30~15:00)

- 金山橋下流 田の崖 / ・カワセミの巣穴、ダミーを含め2穴(赤土が露出したらすぐ巣づくりを始めた) ○銀座金山上空 / ・ヒヨドリ・ハシボソカラス 5×4群・ツバメ
- 川岸 葦の根元 / ・カイツブリ 親2ヒナ(3) 備考: 一時(5)うち(2)は2日後不明。  
・イソシギ 一上空一 オナガ ○銅座橋 / ・イソシギ・セグロセキレイ・ハシボソカラス  
2(アンテナ塔に作られている巣ヒナ3) ○無道橋下流 / ・ヒヨドリ・スズメ・ムクドリ  
コジュケイ(s)・ツバメ・カイツブリ(2)うち1は巣ごもり中・バン1・ツバメ・カルガモ(餌づけされている) ○広町公園(改修工事済み) / ・ヒヨドリ・メジロ・ムクドリ・ツバメ 備考: 本郷橋左岸高台のクスノキの大木2本伐採。

**まとめ** 夏鳥の本格的渡来までのほんの一瞬、新緑に包まれた静寂な散策路はメジロ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ヤブサメ、ウグイスなどのさえずりが聞こえていた。ヤマヒルの姿を見て大声を上げる人もいたが被害は無く、荻野里山の自然の中で楽しい時を過ごすことができた。

\*さくらい たける=あつぎ環境市民の会 荻野里山野鳥ごよみをつくる会 厚木市鳶尾在住

## 6月の厚木市内の二酸化窒素調査

毎年6月と12月に厚木市内のNO<sub>2</sub>(二酸化窒素)濃度を測定しています。今年6月は次の日程で行います。

- 5月29日(土): 測定準備(吸収液を浸み込ませたろ紙の装填)
- 6月3日(木)18時~6月4日(金)18時: 測定地点でのカプセルの暴露(24時間)
- 6月13日(日) NO<sub>2</sub>の定量分析(平塚:神奈川県環境科学センター)

### みんなの環境 第26号 2010年5月20日発行\*

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子 /制作 長岡 恂

電話/FAX 046-224-5010 e-mail: [mitsuko-karino@ayu.ne.jp](mailto:mitsuko-karino@ayu.ne.jp)

事務局 〒243-0817 厚木市王子2-14-3 山中延明 方

電話/FAX 046-224-9693 e-mail: [ANA40480@nifty.com](mailto:ANA40480@nifty.com)

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 A:2000円 B:1000円)

(C)あつぎ環境市民の会 2010